

富士河口湖町 教育センターだより

平成23年6月7日



● 幸せな毎日を忘れていませんか？

田んぼのおたまじゃくしも、カエルの鳴き声も聞こえなくなった昨今。本当はそうではなくて、情報過多の毎日、キンキンチャラチャラする電子音に押されて、聞き逃しているのではないのでしょうか。若者の多くは耳にヘッドホンをはめ、女学生、おもしろおかしく笑い転がっている。一方で、何も耳にはいらぬか何も目に映らぬかのように、うなだれている若者。田舎でさえ見かけるのですから、都会にはたくさんいることでしょう。自然は大きいです。いつも、私達を包んでいます。先日、ツバメの子が一生懸命に飛ぶ練習をしていました。富士山の農鳥が初夏を知らせてくれました。今年はなんと、ハートも添えて（見ましたか？）人の営みを自然も応援しているんですね。東北の人達に負けないように、私達も、毎日の生活を大切にしましょう。

● 頑張る先生たちへ

今、大学3・4年生は、就活に忙しい時期だと思います。先生方の採用試験も7月に行われます。全国的にも山梨県は狭き門ですが、ここ数年、その門はますますせばまってきました。多くの学校に、正規の先生ではありませんが、同じように仕事をして、夜の遅い時間に必死に試験勉強をしている、教師を目指す人達がたくさんいます。児童・生徒に人気があり、仕事もテキパキとこなし、授業も安心してまかせられて・・・もちろん人間性も疑う余地もありません。しかし、結果が物言う社会であることも現実です。一人でも多くの教師を目指す人が厳しい登竜門を越えられることを願っています。そして、あきらめずに、何でも挑戦してほしいと思います。目指す間に得る多くのことは、心を強くし豊かにし、必ず糧になるのですから。

● 今年度の『教育講演会』は…

今年度は、7月9日(土) 午後に勝山さくやホールで行います。「子育ての前に親育て」の演題のもとに、林家ライス・カレー子さんの漫才に笑いながら、教育について考えてみたいと思います。子どもは親の後ろ姿を見て育つ・・・講演中は笑って笑って、そして帰るときには、心の中によい種をまいてください。詳しいことは、後日別紙にてお知らせします。

林家ライス・カレー子

1978年コンビ結成。
環境漫才、いじめ撲滅漫など独自の漫才を展開。

